

## ●生産履歴の記帳

農作物等の生産履歴（いつ・どこで・どのように生産・流通されたか、肥料や農薬などをいつ、どのくらい使用したかなど）を記帳（栽培管理日誌）し、保管することです。これにより、農作物等の遡り調査が可能となります。

## ●精度管理

試験検査施設において、検体（検査に供する食品等）採取から検査成績書発行までの全過程の標準作業所を定め、それに従って検査し、その内容を詳細に記録・保管し、これを検査部門から独立した信頼性確保部門が検証することにより、検査結果の妥当性や信ぴょう性を証明する仕組みのことです。

## ●専門職能団体

法律や医療などの専門的資格を持つ専門職従事者らが、自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するとともに、専門分野における科学・技術の学術研究促進を図ることを目的とした組織のことです。

医療・福祉の分野の専門職能団体では、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本栄養士会等があります。



## ●地産地消

地域生産地域消費の略語で、地元で生産された農産物を地元で消費すること。広い意味では、産地と消費者との物理的な距離のみならず、心理的な距離も縮めることも含めるという考えもあります。

## ●低出生体重児

出生時の体重が2,500g未満の新生児のこと。

## ●動物用医薬品

牛、豚、馬、鶏などの畜産動物や養殖魚に対して、病気の予防や治療のために使われている抗生物質や寄生虫駆除剤など、飼育段階で使用される医薬品のことです。これらの製造・販売・使用については薬事法により規制され、また食品衛生法により、人への健康影響が無いレベルを食品中の残留基準値として設定しています。

## ●適正体重

身長(m) × 身長(m) × 22 で算出される値(kg)で健康を維持していくための目安となる体重のことをいいます。

## ●と畜検査

獣畜（牛、馬、豚、めん羊及び山羊）を食用に供する際、都道府県等により実施される検査で、と畜場法に基づき安全で衛生的な食肉の供給を図るため、と畜場に搬入され食肉処理される獣畜を1頭1頭すべてについて獣医師であると畜検査員が疾病の有無等の検査を行います。

## ●トレーサビリティ

「トレーサビリティ」(traceability)とは、2つの用語「追跡」(トレース, trace)と「可能」(アビリティ, ability)をあわせた言葉です。直訳すると「追跡できる可能性、能力」という意味となります。

トレーサビリティシステムを活用することにより、迅速な原因究明や違反食品などの特定及び再発防止を図ることができます。



## ●内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）

内臓脂肪がたまることによって、血圧、血糖が高くなったり血中の脂質異常を起こしたりして、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことをいいます。

## ●中食（なかしょく）

中食（なかしょく）とは、惣菜店等の家庭外で調理された弁当や調理食品を持ち帰って、家庭の食卓で食べることをいいます。

## ●日本型食生活

主食である「米」を中心として、大豆・野菜・魚などの副食物を組み合わせたものに、畜産物や果物などがバランスよく加わった食事パターンのことです。



## ●HACCP(ハサップ)

Hazard Analysis and Critical Control Pointの略称で、1960年代に米国で宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理の手法です。

従来の最終製品抜き取り検査では100%の安全性を保障することができないことから、製造に係る危害分析(HA)を行い、重要な工程を重要管理点(CCP)と定め連続的に管理することによって全ての製品の安全性を確保していくための衛生管理手法です。